

BIMobject Japan と日本 FLOW が BIM 関連で業務提携
建設プロジェクトのフロントローディング化と BIM オブジェクトの流通増を目指す
～BIM エンジニアの不足と障がい者の就業課題の解決も視野に～



野原グループで 3D デジタルコンテンツのプラットフォーム事業を行う BIMobject Japan 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：東政宏）は、BIM 技術チームを強みの一つとする日本 FLOW 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：半戸祐次）と、建設産業の生産性向上のカギと言われるフロントローディング¹とその実現に必要な建材・設備・家具メーカー各社の BIM オブジェクト²の国内流通を目的とした業務提携を 2022 年 6 月より開始いたしました。

国内では、国土交通省が「2023 年までに小規模工事を除くすべての公共事業に BIM/CIM を原則適用」を決定しています。私たちは、本業務提携により、メーカーオブジェクト作成支援を提案し、オブジェクトの国内流通量増加による設計ユーザーの利便性向上を目指します。

<主な業務提携内容>

設計ユーザー向け	メーカー各社向け
国内仕様「Revit ファミリ」を集約した特設ダウンロードページ（無料）を開設 ▼日本 FLOW×BIMobject Japan 特設ページ https://bim-flow.jp/revitfamily/	・ユーザーニーズの共有 ・BIM オブジェクト作成サービスの提供

<今後の展開>

BIMobject Japan は、2017 年から国内 BIM プラットフォーム事業を開始し、グローバル市場で培った BIM オブジェクト管理や配信ネットワークが強みです。日本 FLOW は、日本よりも BIM が 5 年は進んでいると言われている台湾を中心に、長きに渡り BIM 統合案件と多種の BIM プロジェクトに携わった実績を有し、建設業のフルライフサイクルに渡った BIM 統合サービスを提供することを通じた「障がい者の就業課題の解決」

を組織発展のコア目標³としています。

今後は、両社の強みを生かし、建材・設備・家具メーカー各社が製品カタログと同じ位置づけでBIMオブジェクトを自社で整備しマーケティングに活用しやすい環境の実現にむけ、BIMオブジェクト開発のビジネスモデル構築を目指します。長期的には、日本でも台湾と同じように、高い集中力と細かい作業に長ける方が多いとされる障がい者がBIMオペレーターとして活躍できる場を創出したいと考えています。



国内 BIM/CIM 工事事業数の増加、需要拡大

1. 国内外での BIM 需要の拡大予測

国土交通省の調査では、国内 BIM/CIM 活用業務・工事事業数は 2012 年から累計事業数は 1,506 件で、そのうち業務が 934 件、工事が 572 件と BIM/CIM 活用が年々増加しています⁴。

世界の BIM 市場規模は、2021 年は 65 億米ドル、2027 年には 154 億米ドルに達すると予測されています⁵。

2. BIM エンジニアの不足と障がい者の就業課題の解決

BIM 需要の拡大とともに、BIM エンジニアの不足が指摘されています。

FLOW 本社がある台湾では、2013 年前後から国を挙げて BIM を推進しており⁶、FLOW は BIM モデリング

(Revit) 統合サービスや BIM オブジェクトの作成をすでに展開しております。プロの BIM 技術チームが多数あり、そこには、障がいを持った BIM エンジニアが多く在籍し、2013 年から 2021 年までに BIM と AI 産業において 460 件以上の仕事の機会を障がい者に提供しました。

日本でも、外務省が「2030 年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一価値の労働についての同一賃金を達成する。」と発表しています (JAPAN SDGs Action Platform)⁷。

私たちは、本業務提携を通じて、障がい者の就業課題⁸と、テクノロジー業界の人手不足という二つの社会課題の解決に長期的に挑戦してまいります。

日本 FLOW 株式会社について

FLOW Inc. は、トレンドマイクロ株式会社 代表取締役会長 スティーブ・チャン (張明正) によって 2007 年に創設、2013 年に台湾で世界初の社会的企業としての BIM サービスチームを立ち上げ、2019 年に支社となる日本 FLOW 株式会社を設立しました。



FLOW は、現場での数々の実務経験、長きに渡る BIM ソフト : Revit の使用経験、そして多種の BIM プロジェクトに携わった実績を有しており、常に建築プロジェクトのクオリティを高めることを意識し、高品質の BIM 統合サービス (BIM Integration Service) を提供し続けています。また、当社は情報技術の専門性を背景に、業界内での連携を通じて BIM 技術の運用拡大を図り、日本マーケット向けに BIM モデリングサービス、ならびにニーズに合わせた、家具、設備などの BIM オブジェクト (Revit ファミリ) 作成サービスを提供します。

▼日本 FLOW 株式会社ホームページ

<https://jp-flow.jp>

BIMObject Japan 株式会社について

建材商社である野原ホールディングスと、世界最大の建材等のデジタルコンテンツプラットフォーム「bimobject.com」を展開するBIMObjectAB (Malmo Sweden) が2017年12月27日付で設立した、BIMの国内向けサービス会社です。

BIMObject Japanが運営する「BIMObject」は、メーカーにとっては自社製品をグローバルに発信する場になっています。様々なサイトやソリューションとも幅広く連携できるだけでなく、全てを一括管理できる高機能なデータ管理システムとしての側面も持っています。設計者にとってはメーカー監修のオブジェクトデータを無料で入手できる場となっています。

▼BIMコンテンツプラットフォーム「BIMObject」
<https://www.bimobject.com/ja/search>



野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、2020年8月より掲げる新ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。<https://nohara-inc.co.jp>



【お客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
VDC 事業開発部
e-mail : japan@bimobject.com

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
マーケティング部 (担当：齋藤)
e-mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

- ¹ フロントローディングとは、国土交通省によれば、初期の工程（フロント）において負荷をかけて事前に集中的に検討する手法です。後工程で生じそうな仕様変更や手戻りを未然に防ぎ、品質向上や工期の短縮化に効果があります。
http://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcim1stGuide_R0109_hidaritojiryomen_0909.pdf
- ² BIM オブジェクトとは、BIM を構成する最小単位で、寸法・形状・仕様・性能・品番などが属性情報として入力された 3D データで表現されます。
- ³ FLOW は、台湾を中心に、障がい者がテクノロジー業界で必要とされる人材として自立できるよう、テクノロジーとビジネスの力を駆使し、障がい者の雇用拡大に尽力しています。<https://jp-flow.jp/sdgs/>
- ⁴ 詳細は、国土交通省 WEB を参照願います。<https://www.mlit.go.jp/tec/content/001464924.pdf>
- ⁵ 詳細は、「ビルディングインフォメーションモデリングの世界市場：産業動向、シェア、規模、成長、機会、および予測（2022 年～2027 年）」を参照願います。
<https://www.gii.co.jp/report/imarc1092010-building-information-modeling-market-global.html>
- ⁶ 台湾の BIM に関する動きは、「台湾 BIM 導入の戦略と課題」を参照願います。
https://www.ribc.or.jp/info/pdf/sprep/sprep108_08.pdf
- ⁷ 詳しくは、以下の資料を参照願います。<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/statistics/goal8.html>
- ⁸ 日本の障がい者雇用の現状については、厚生労働省の発表資料を参照願います。
<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11601000-Shokugyouanteikyoku-Soumuka/0000178930.pdf>